

PR



パッケージにロゴをあしらった「別府地獄ラーメン」＝大分市賀来南のヘルカンパニー

風呂おけと手拭いを図案化したもので、日本一のおんせん県おおいたぬ味力も満載」といった言葉が添えられている。原則として県に申請すれば誰でも使うこと



ロゴを表紙に入れた中元用の商品カタログ＝大分市府内町の大分一品

ロゴマーク（写真上）は風呂おけと手拭いを図案化したもので、日本一のおんせん県おおいたぬ味力も満載」といった言葉が添えられている。原則として県に申請すれば誰でも使うこと

我が社も

民間企業を中心に、県ツーリズム戦略のキヤッチフレーズ「おんせん県」のロゴを土産品、印刷物などに活用する動きが広がっている。県は19日までに68件の申請を受け付け、滑り出しは好調。商標登録は認められなかつたものの、「積極的に使ってもらいたい、良舉げて大分県観光をPRしていきたい」（県観光・地域振興課）と、さらなる活用を呼び掛けている。



3ヵ月半で申請68件 土産品や中元カタログ

沸き立つ「おんせん県」活用

ができ、今年3月5日から申請の受け付けを始めた。68件の申請は県内の土産品業者、旅館など観光関係者が中心。別府市で来年開催される学会のチラシ・ポスター、全国高校総合文化祭の発表の際に使いたいというケースもあるという。

(2013年6月20日朝刊5面)

民間企業を中心に、「おんせん県」のロゴを土産品、印刷物などに活用する動きが広がっています。

①ロゴマークは、何を図案化したものですか。

②申請の受け付けはいつから始まり、今まで何件の申請がありますか。

③あなたなら、どういう物にロゴを付けますか。アイデアを出し合ってみよう。